

(猿 渡)

日本共産党のえんど久子県議

3月県議会報告

介護 医療 福祉職場の声を届け改善を求める

基本給アップを求める中で

えんど（猿渡）久子県議は、これまでも医療・介護・障がい福祉の報酬見直しや基本給アップなどを求めてきましたが、3月3日の本会議でも現場の声を届けて改善を求めました。

報酬が低く全国で7割の病院が赤字です。みなさんの声と運動により、診療報酬・介護報酬は6月に引上げ予定です。6月までの半年分の給与を前倒しで引き上げるための県の補正予算案について、えんど県議は質疑しました。

幅広い職種の賃上げを

えんど久子県議は「報酬アップはまったく不十分だ」「デジタル化と言われても在宅介護の場合は難しい」などの現場の声を紹介し、幅広い職種が賃上げになるのか、給与引き上げの影響で国民の負担増にならないのか、などを質問。

利用者負担は増えない

事務職員を含む雇用されている全ての従業員の基本給を引き上げるが、患者や利用者の負担増にはならないことを県は答弁しました。

ガソリン代やカスハラ対策も必要

えんど県議は「経営者を含めた賃上げが必要。ヘルパーなどの長距離移動やガソリン代の値上げにも対応すべきだ」と主張。県は「物価や賃金の上昇に応じスライドさせる仕組みも要望しており、地域の実態を国に伝えていきたい」などと答弁しました。

えんど県議は、常任委員会や討論、予算特別委員会でもこの件を発言。カスハラ対策も求めました。

介護士の社会的地位が低すぎる
ボランティア精神搾取ではないか。

人材不足が加速している
重度訪問介護のヘルパーが
1ヶ月みつからない。

看護師の離職が相次ぎ休
みが取れず疲弊し悪循環。

異次元の賃
上げをしてほ
しい。

ヘルパーは60
代70代が中心。事業
所をいつまで続け
られるの



声を紹介し質問するえんど久子県議

日本共産党 県政ニュース

発行 日本共産党大分県議団
大分県議会議員 えんど久子

TEL・Fax 097-537-2344

No. 86

2026.4.20.

えんど久子のホームページはっぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください

県議22人のヨーロッパへの視察に反対

税金3400万円使って

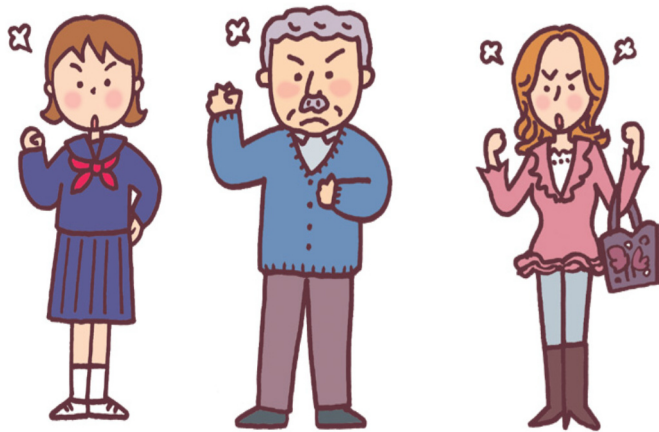
大分県議22名は、フランス・スイス・ドイツに3グループに分かれ海外視察に行く予定です。税金3400万円を使い、4月〜7月に、子育て支援や観光振興・環境政策などの先進事例を調査研究するためですが、日本共産党は反対しました。

反対は日本共産党だけ

反対は、日本共産党のえんど久子・つつみ栄三両県議の2人だけでした。

3月26日の本会議で、日本共産党のつつみ栄三県議は「全ての海外視察が悪いとの立場はとらないが、厳しい県民生活や財政状況の中、3400万円の税金を使ってまでするべきか」と自粛を求め討論しました。

共産党と公明党は、この海外視察に参加しません。



発言ゼロの議員も多い予算審議で えんど久子県議ら積極的に発言

日本共産党のえんど久子・つつみ栄三県議は、新年度予算を審議する予算特別委員会で連日奮闘。みなさんの声を届け願いを実現しようと、2人で75項目を質疑しました。

一方、43人の県議の内3分の2ほどの議員は、5日間の予算特別委員会で質疑ゼロ〜2回でした。

- ・ 4年間ごとに3200万円の知事の退職金は高すぎる
- ・ 豊予海峡ルート（四国への橋やトンネル）はいらない
- ・ 東九州新幹線はマイナス面も議論すべき
- ・ 動物愛護団体への支援の充実
- ・ 学校給食費はどの子もゼロに
- ・ 国保税の負担を軽く

などを予算特別委員会等で求めました。

県議会の あらゆる場を 活かして

大分県議会では、自身が所属する委員会だけでなく、所属しない委員会にも出席し質問や発言ができます。

えんど久子県議ら日本共産党は、委員外議員としても積極的に質問や発言し、みなさんの要望の実現に努力しています。



委員外議員として発言するえんど久子県議（右端）
大分県議会にて 2026. 3. 19.